

海の事故情報（七管区） 【速報値】(8月22日～8月28日)

令和4年9月2日

船の事故	発生日	発生県	船舶種類	事故形態
	8月25日(木)	福岡県	その他	単独衝突
	8月25日(木)	大分県	遊漁船	運航不能
	8月26日(金)	山口県	プレジャーボート	転覆
	8月25日(木)	山口県	漁船	乗揚
	8月26日(金)	大分県	プレジャーボート	運航不能
	8月27日(土)	福岡県	貨物船	乗揚
人の事故	発生日	発生県	事故区分	事故内容
	8月23日(火)	福岡県	マリレに伴う海浜事故	溺水
	8月23日(火)	長崎県	マリレ以外の海浜事故	海中転落
	8月27日(土)	福岡県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	病気

ミニボートは他船から 見えづらい！

【問合せ先】
第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 古場
安全対策調整官 川部
TEL：093-321-2931（内線2640）

【事故事例】

令和4年8月26日05:45頃、船長1名でミニボートに乗船し出港、同日06:10頃、漁場に到着し釣りを始めたところ、沖合から複数の船舶が接近してくるのを確認したが、避けてくれるだろうと思い、静観していたところ、何隻かは自船から離れて航行したが、内1隻は自船に船首を向け、そのまま接近してきたことから、自船の避航が間に合わない判断し、自ら海に飛び込んだもの。

その後、船長はミニボートに掴まっていたところ、付近で釣りをしていたミニボートに救助された。



◆ミニボートに乗船時の注意事項

・見つけましょう。見つかりましょう。

海上では、様々な方向から危険が迫ってきます。釣り中であっても見張りをを行い、他船の接近や浅瀬等への接近に注意しましょう。また、ミニボートの形状は、他船から見えづらく、他船に気づいてもらえない場合があります。他船が接近して来る場合は、釣り中であっても自ら早めに大きく避航しましょう。

また、その視認性の低さから次の事項が推奨されています。

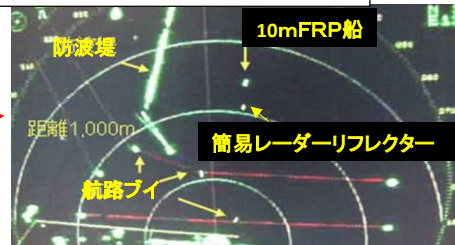
- ・3メートル以上の高さのポールに目立つ旗(認識旗)を掲げる
- ・出来るだけ目立つ服装を着用する。
- ・レーダーリフレクターを取り付ける。



竹竿に設置されたレーダーリフレクター



設置すれば、レーダーによく映ります。



空き缶を使用して作成できる簡易レーダーリフレクターもあります。



作成方法はこちらから



・知ってますか？ミニボートの安全基準

ミニボートは「波高20cm以上」「風速4m/s以上」で安全に運航できないと言われています。

事前に必ず気象情報を確認しましょう。また、実際の海上では、天候不良の場合もあります。気象・海象に少しでも不安を感じた場合は、事故を起こさないためにも出航しない勇気、早めに帰港する判断も必要です。

荒天により水船状態となったミニボート



詳しくは、HP「ウォータセーフティガイドのミニボートに関する情報」を確認しましょう。

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/miniboat/index.html>

